

新日本画研究会

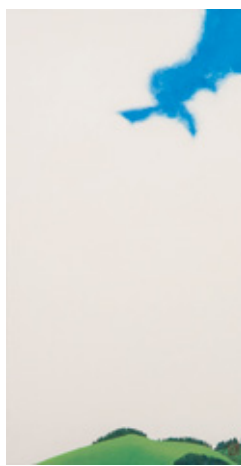
【会期】 10月15日(水)~10月21日(火)
 【会場】 松坂屋名古屋店 南館6階 美術画廊
 名古屋市中区栄3-16-1
 ☎052(264)3383(直通)
 * ギャラリートーク=10月18日(土)14時~

出品作家

齋 正 機	石 崎 昭 亜	磯部光太郎
漆 原 夏 樹	大 塚 怜 美	岡 村 智 晴
久 世 直 幸	熊 谷 曜 志	阪本トクロウ
三 田 尚 弘	芝 康 弘	園 家 誠 二
楚 里 勇 己	東 儀 恭 子	長 沢 明
野口満一月	藤 城 正 晴	松 岡 歩
本 地 裕 輔	山 口 裕 子	(敬称略・順不同)



園家誠「二月夜」



石崎昭亜「兆し」



東儀恭子「疾風図」



磯部光太郎「Biopop 喜雨」



阪本トクロウ「呼吸」



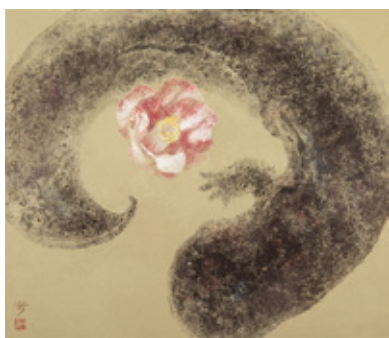
漆原夏樹「蓬菜図」

今展は松坂屋が齋正機氏に依頼して実現した展覧会である。「時代が変わっても、日本画は基本的所作は変わりません。絵の具を一から作り、おおらかに判断して作業し、ゆっくりと生命を吹き込んでいく。時間の流れが非常に早くなった現代において、これは合理的ではなく社会の流れとは真逆です。そんな中で、若手だとしても日本画家としてオリジナルの考えで

対峙している方、または尊敬できる方との作品展で、日本画のあるべき姿について考えを深めていきたいと思いました。若手達と革新的な日本画を目指すということではなく、『自分で見つけた日本画の価値観の実践者』という意味を込めて新日本画研究会と名付けています」

大、愛知芸大、多摩美術大、東北芸工大などと、年代と共に様々だ。共通しているのは人気作家ということだろうか。人気というのは作品のオリジナリティが客観的に評価され、実力が伴わなければ当然ついてこない。

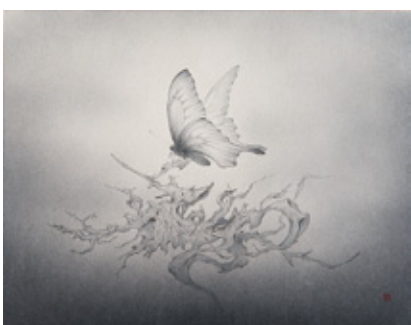
日本画に対して何を思い、作品に込めるのか。20名の作品が一堂に並ぶ今展は、普段とは違う真剣勝負の場となるだろう。(編集部)



松岡歩「大山椒魚」



山口裕子「もりとおつま」



藤城正晴「Rebirth #6」



大塚怜美「日曜の夜は」